

# 広島駅まち協議会エリアマネジメント活動計画



HIROSHIMA  
EKIMACHI

広島駅周辺地区まちづくり協議会

## 広島駅まち協議会エリアマネジメント活動計画

1. エリアマネジメントの名称及び対象地域
2. エリアマネジメントの目的及び目標
3. エリアマネジメント団体の組織体制
4. エリアマネジメントの取組内容
5. エリアマネジメントの収支計画
6. エリアマネジメントの推進において必要と考える公共施設等の使用等に係る制限等の緩和

# 1. エリアマネジメントの名称及び対象地域

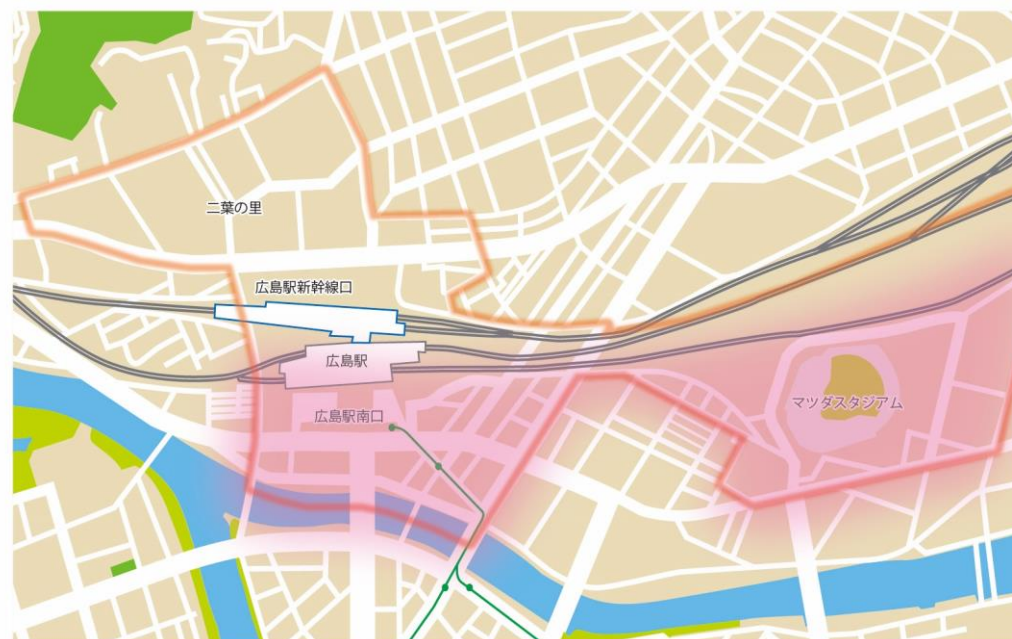
## 活動の名称

広島駅まち協議会エリアマネジメント

## 活動の範囲

JR広島駅南口地区～マツダスタジアム地区周辺

※都市再生緊急整備地域（広島駅周辺地域）のうち、JR山陽本線から南側の範囲（下図網掛けの範囲）



# 都市再生緊急整備地域について

## 都市再生緊急整備地域とは？

都市再生特別措置法（平成14年4月5日 法律第22号）に基づいて、「都市の再生の拠点として、都市開発事業等を通じて緊急かつ重点的に市街地の整備を推進すべき地域」として政令で定められるもので、その立案は内閣に設置された都市再生本部で行われます。広島市では、平成15年7月18日に『広島駅周辺地域』が、平成30年10月24日に『広島紙屋町・八丁堀地域』が指定されています。（広島市ホームページより抜粋）

## 『広島駅周辺地域』について

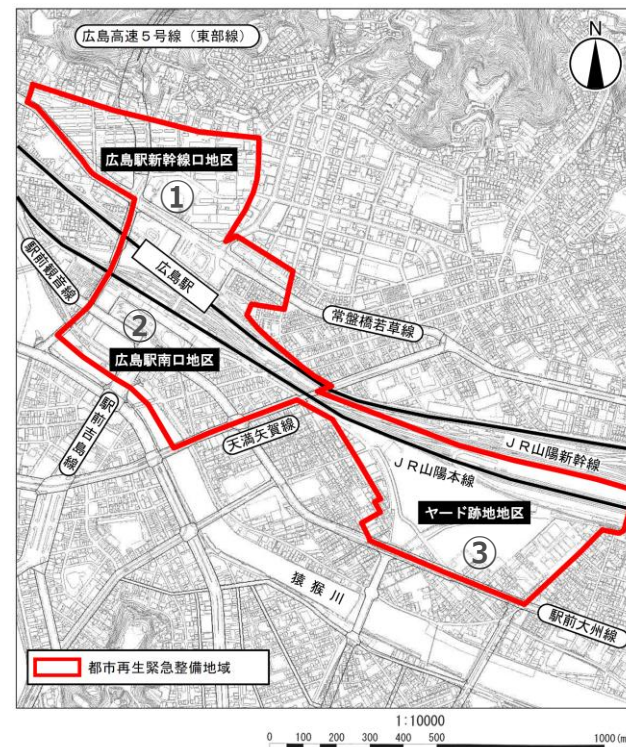
本協議会では、地区の価値を持続的に維持し、向上させるためにはハード整備にとどまらず、生まれ変わったまちをどのように活用するかといったソフト面での取組が不可欠であると考え、このうち②広島駅南口地区、③ヤード跡地地区（マツダスタジアム）周辺を主な活動範囲に設定しています。

「広島駅周辺地域」では、広島市の陸の玄関にふさわしい個性的で魅力ある都市空間の形成を目指し、広島駅新幹線口地区、広島駅南口地区、及びヤード跡地地区の開発の推進を重点事業として進めていくこととしています。（広島市資料より抜粋）

各地区の概要、整備方針等は以下のとおりです。

### ①広島駅新幹線口地区（※エキキタまちづくり会議の活動エリア）

若草町地区においては、市営若草住宅の建替完成により、遊休地化した土地の有効活用を図り、敷地の整形化や不燃化による安全なまちづくりを進めるため、個人施行方式による市街地再開発事業を実施し、平成22年に再開発ビルが完成した。未利用の国有地とJR西日本の施設などが存在する二葉の里地区においては、土地区画整理事業により都市基盤整備を行うとともに、具体的な土地利用方針や開発誘導方策等の検討を行うことで、民間主体の計画的な開発を誘導し、広島駅南口と一体となった本市の陸の玄関にふさわしい地区に再生する必要がある。



# 都市再生緊急整備地域について

## ②広島駅南口地区

広域交通ターミナルである広島駅に隣接した重要な位置にありながら、老朽建物が密集し、効率的な土地利用がなされていなかったBブロック、Cブロックにおいて、市街地再開発事業の実施により、建物の不燃化と土地の高度利用による商業・業務機能の集積を進め、都市機能の充実・強化を図る。

## ③ヤード跡地地区（マツダスタジアム（広島市民球場）の建設及び広島市民球場周辺地区開発等の推進）

ヤード跡地地区において、マツダスタジアムを核として、民間事業者による集客施設等を整備し、マツダスタジアムと一体となった年間を通じて賑わいのある空間を創出する。

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
広島駅周辺地域	<p>〔都市再生緊急整備地域〕</p> <p>広島市の都心の一角を形成している広島駅周辺地域において、広域交通結節点である地域の特性を活かし、都心機能の充実・強化に資する複合拠点を形成するとともに、建築物の不燃化や耐震化等により災害に強いまちづくりを推進</p> <p>広島駅南口地区において、敷地の共同化等により、商業を主体とした高次都市機能を強化</p> <p>広島駅新幹線口地区において、大規模な低・未利用地等の土地利用転換や高度利用により、業務等の多機能拠点を形成</p> <p>ヤード跡地地区において、広島市のシンボルとなる新たなにぎわいのある都市拠点を形成</p> <p>猿猴川に面した地区において、水の都ひろしまにふさわしい魅力ある水辺空間を活かした回遊性のあるまちづくりを展開</p>	<p>（広島駅南口）</p> <p>○広島市の陸の玄関口にふさわしい高次商業・業務機能や高質な居住機能等の複合的な都市機能を強化</p> <p>（広島駅新幹線口）</p> <p>○業務・居住・商業・医療系等の複合的な都市機能を導入</p> <p>○災害時の避難場所、延焼防止となるオープンスペースを確保</p> <p>（ヤード跡地）</p> <p>○プロ野球のスタジアムを中心として、広域集客・交流を促進する商業や娯楽機能等を導入</p> <p>○大規模災害時の広域避難場所、備蓄倉庫等の防災拠点機能を確保</p>	<p>○都市開発事業による歩道状空地や河岸緑地の整備と合わせた水際の遊歩道の確保により、回遊性と親水性のある歩行者ネットワークを形成</p> <p>○駅前の交通結節点の機能強化を図るため自転車の駐車を整備</p> <p>○広島高速1号線を介して山陽自動車道広島東ICと都心を直結する広島高速5号線（東部線）を整備</p> <p>○広域的な交通利便性の向上に資する都市計画道路常盤橋若草線の拡幅整備</p> <p>○駅周辺の回遊性を高めるベデストリアンデッキ等の整備を検討</p> <p>○広島駅とのアクセスの向上に資する都市計画道路駅前大州線の拡幅整備</p> <p>○ヤード跡地の円滑な交通処理に資する道路整備等を検討</p> <p>○駅から地区内への回遊性を高める歩行者空間の充実・強化を検討</p>	<p>○地下広場や水辺空間との接続、有効活用に配慮したにぎわいのある都市空間を形成する都市開発事業の促進</p> <p>○二葉山や社寺など自然や歴史性に配慮した都市空間を形成する都市開発事業の促進</p>

## 2. エリアマネジメントの目的及び目標

エリアマネジメントとは、「地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業者・地権者等による主体的な取り組み」のことです。エリアマネジメント活動を進めることにより、住民・事業者・地権者等は、次のような様々な受益が期待できます。

- ◎地域に関わる様々な主体の相互理解やネットワーク・絆の形成
- ◎安全・安心で快適な居住環境や就業環境の形成
- ◎地区のイメージアップによる資産価値の向上
- ◎来街者の増加による収入の増加 など

このようなエリアマネジメント活動の効果を発揮するため、「広島駅周辺地区まちづくり協議会」では、会員である広島駅周辺の事業者・団体等が中心となり、まちの将来像とそのため自分たちができることを話し合い、まちづくりのキャッチフレーズやまちの目標像、実現に向けた戦略などをとりまとめた「まちづくりビジョン」を作成し、エリアマネジメント活動の指針とし共有しています。

### キャッチフレーズ

次のようなキャッチフレーズを「まちづくりの合言葉として」掲げています。

【キャッチフレーズ】

**ワクワクドキドキ 変わるエキマチ HIROSHIMA**

【キャッチフレーズに込める想い】

広島陸の玄関口であり、再開発事業等による都市再生が進む広島駅周辺地区において、単なる通過点ではなく、行ってみたい・歩いてみたいと誰もが思える『ワクワクドキドキできるまち』や、新しい再開発ビルや歴史的な資源など新旧の魅力が混在し、様々なジャンルやターゲットの広がりと共に新しい発見のある『変化し続けるまち』を目指して、良好な環境づくりや新たな魅力づくりに取り組みます。



## まちの目標像

次のような「まちの姿」を5年後（2023年）の目標像として掲げるとともに、数値目標を設定しています。

【目指す5年後（2023年）の『まちの姿』】

**目的をもって訪れる来街者が増え、地区のブランド力が高まっている。**

広島駅周辺地区は、広島の陸の玄関として今も多くの来街者がありますが、次の目的地（市内中心部、宮島など）に向かうための通過点としての機能がメインで、多くの人々が目的をもって訪れ、にぎわいのある地区になっていません。このため、再開発等による新たなにぎわいスポットの創出を契機とし、地区の企業・団体等が連携した多様なエリアマネジメント活動の展開により、目的をもって訪れる来街者の増加と地区のブランド力の向上を目指します。

### 数値目標

項目	現況（2018年）	目標（2023年）
J R広島駅の利用者数	約18万人／日	約23万人／日
広域商圈調査の支持率	5.4%	7%
地区内の事業所数	約970事業所	約1,200事業所
帰宅困難者受入施設数	14施設	18施設
コンベンションの開催件数	9回／年	12回／年
来街者の満足度	-	80%
歩行者の通行量（地下広場）	約5万人／日	約7万人／日

## まちの目標像を実現する4つの戦略

まちの目標像を実現するために、この地区の特色を生かした、次のような「4つの戦略」を掲げ、これに基づいたエリアマネジメント活動を実践します。また、協議会による活動指標や成果指標として、戦略ごとの数値目標を設定しています。  
※目標数値は、協議会の活動数値及び活動により数値増が見込まれるものを想定

### ① 「おもてなしのまち」戦略

- 広島駅周辺地区は広島陸の玄関であり、多くの人々が広島で最初に訪れる場所でも初めて訪れる場でもあります。このため、広島駅周辺地区を訪れる人への案内機能を強化し、誰にとっても分かりやすいまちを目指した取り組みを進めます。

目標像

広島駅を利用する旅行者等が不満を感じず、地区に良い印象を持っている。

数値目標  
(2023年)

地下広場案内所の案内件数：約6万件／年  
(現況：約5万件／年)



### ② 「にぎわいのあるまち」戦略

- 広島駅周辺地区は、開発により新たなにぎわい拠点が生まれる一方で、拠点性や歴史・文化・自然などの従来からの魅力があります。こうした新旧の魅力を活用・発信し、たくさんの人々が集まり、回遊し、長く滞在してもらえるまちを目指した取り組みを進めます。

目標像

年間を通じてにぎわいが継続し、訪れた人が地区内外を回遊している。

数値目標  
(2023年)

地下広場・川の駅のイベント実施件数：260件／年  
(現況：211件／年)  
協議会フェイスブックの「いいね！」の数：500人





### ③ 「スポーツと健康のまち」戦略

- 広島駅周辺地区には、スポーツ施設（マツダスタジアム）・トップス広島（関係企業）・医療施設などが多くある環境を生かし、スポーツを観たり、スポーツに取り組んだり、気軽に健康づくりが行える仕掛けづくりを勧めます。

目標像

大規模なスポーツイベントや健康イベントが継続的に開催され、広島駅周辺がスポーツや健康づくりの拠点となっている。

数値目標  
(2023年)

協議会による健康づくりやカープ関連の取組  
実施件数：5件/年



### ④ 「安全・安心なまち」戦略

- 広島駅周辺地区は開発が進んでおり、来街者とともに、マンションなどの住民も今後増えてきます。このため、商業、宿泊、医療、警察などの様々な機能の集積を活かし、どこよりも安全性の高いまちを目指した取り組みを進めます。

目標像

安全・安心な地区として評価され、多くの人々が「行ってみたい」「住んでみたい」「働いてみたい」と思っている。

数値目標  
(2023年)

協議会によるおもてなし一斉清掃の実施回数：12回/年  
(現況：4回/年)



# 具体的な活動のイメージ

## ①「おもてなしのまち」戦略



まちの回遊性の向上  
快適な歩行空間と便利な交通環境で移動しやすく！


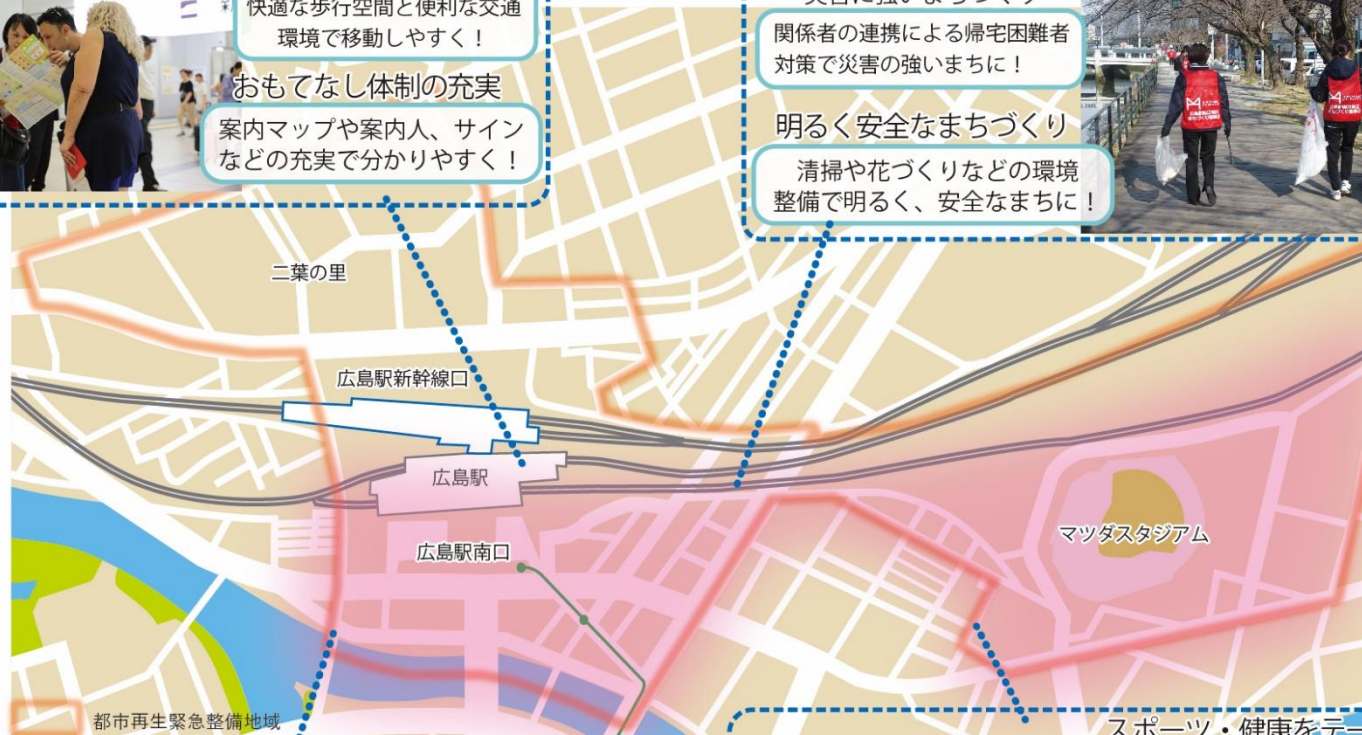
おもてなし体制の充実  
案内マップや案内人、サインなどの充実で分かりやすく！

## ④「安全・安心なまち」戦略




災害に強いまちづくり  
関係者の連携による帰宅困難者対策で災害の強いまちに！

明るく安全なまちづくり  
清掃や花づくりなどの環境整備で明るく、安全なまちに！



広島駅周辺の演出  
イベントや公的空間の活用でにぎわいを演出！

広島駅周辺の情報発信  
SNSや地域情報誌で地域の魅力や最新情報を発信！



スポーツ・健康をテーマとしたまちづくり  
カープとのコラボやスポーツ・健康イベントを実施！

ウォーキング・ランニングの聖地づくり  
マツダスタジアム周辺をウォーキングやランニングの聖地に！

## ②「にぎわいのあるまち」戦略

## ③「スポーツと健康のまち」戦略

## 3. エリアマネジメント団体の組織体制

### 組織の名称

広島駅周辺地区まちづくり協議会（略称：ヒロシマエキマチ、広島駅まち協議会）

ロゴマーク



【デザインコンセプト】

広島駅周辺地区まちづくり協議会が目指す“変わり続けるまち”をテーマに制作。

“広島駅周辺地区まちづくり協議会”を略してヒロシマエキマチとした。

ロゴマークのデザインは、“変わり続けるまち”ということで、グラデーションを用い、優しい配色にした。グラデーションは、黄色から青の配色になっており、黄色はこれからのヒロシマエキマチの未来への希望を、青は川に囲まれた広島駅周辺地域を表している。特徴的なマークはHとMを合体させたもので、Hは広島駅、Mは街を表す。

### 組織設立の経緯

広島駅周辺地区は、平成15年（2003年）に国から都市再生緊急整備地域に指定され、平成21年（2009年）にマツダスタジアムが開設、平成28年（2016年）には南口に「ビッグフロントひろしま」「エキシティ・ヒロシマ」の2つの再開発ビルが相次いで完成するなど、急速なハード整備により、まちが大きく生まれ変わってきています。

こうした中で、地区の価値を持続的に維持し向上させるためには、ハード整備にとどまらず生まれ変わったまちをどのように活用するかといったソフト面での取組が不可欠であると考え、平成26年（2014年）頃から地区内の事業者や行政等が中心となり、エリアマネジメント団体の設立に向けた勉強会の開催や定期的な清掃活動の実施等の取り組みが始まりました。平成27年（2015年）には、新たなまちを考えるワークショップの実施、平成28年（2016年）からは本格的なエリアマネジメント活動を実施する任意組織の設立に向けた準備会議を開催し、組織体制や活動プラン等を検討してきました。そして、平成30年（2018年）5月、地区内の企業・団体等を中心とした「広島駅周辺地区まちづくり協議会」を発足しました。

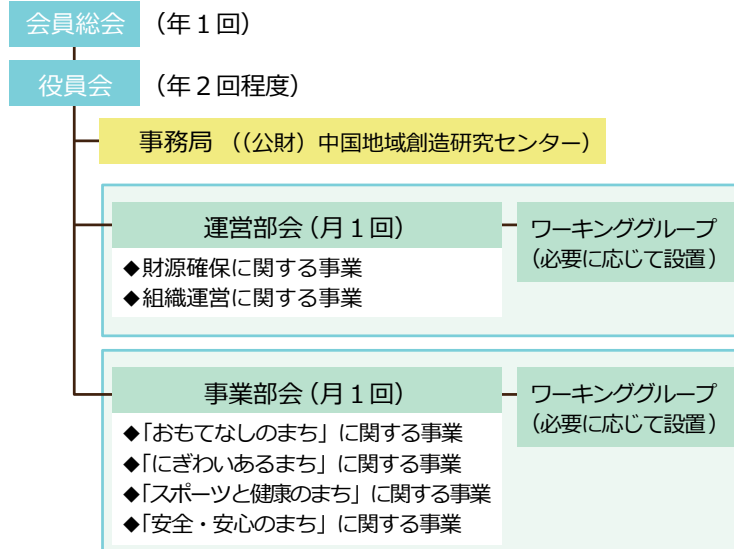
広島駅周辺地区まちづくり協議会では、広島駅南口周辺やマツダスタジアム周辺を主な活動範囲とし、にぎわいづくりや回遊性の向上、安全・安心な環境づくりなどのエリアマネジメント活動に取り組んでいます。

## 組織概要

財源確保や組織運営に関する事業を検討・実施する「運営部会」、4つの戦略に基づく個別の事業を検討・実施する「事業部会」を設置しています。

2019年5月末時点の会員数は31会員です。

### 組織体制



区分	事業者名	運営部会	事業部会	
正会員	アイケイケイ株式会社		○	
	アイスタイル株式会社		○	
	株式会社アイディオー		○	
	株式会社イズミ		○	
	株式会社エキシティ広島		○	
	株式会社エディオン		○	
	エネコム		○	
	カルビー株式会社 Calbee Future Labo		○	
	グローリー株式会社 中国支店		○	
	コストコ広島倉庫店		○	
	株式会社ザイマックス九州		○	
	シェラトングランドホテル広島	○	○	
	大和ハウス工業株式会社		○	
	日本郵政不動産株式会社	○		
	株式会社ビックカメラ		○	
	広島駅南口開発株式会社	○	○	
	広島銀行広島駅前支店	○	○	
	社会福祉法人広島市社会福祉協議会		○	
	広島テレビ放送株式会社	○		
	広島電鉄株式会社	○	○	
株式会社広島東洋カーブ		○		
株式会社福屋広島駅前店		○		
三井不動産株式会社		○		
株式会社もみじ銀行	○	○		
ルネサンス広島ボールパークタウン		○		
賛助会員	大和リース株式会社広島支店		○	
特別会員	公益社団法人中国地域創造研究センター	○	○	
	広島県(地域政策局 都市圏魅力づくり推進課)	○		
	広島市(都市整備局、南区)	○	○	
	松原町内会			
	UR都市機構中国まちづくり支援事務所	○	○	
合計		31	11	27

※活動範囲内の町内会等については、協議会の活動について情報提供を行っており、理解を得られている。

※「正会員」は地区内の土地・建物の所有者・管理者等、「賛助会員」はそれ以外で活動を支援及び協力するもの、「特別会員」は活動を公的や専門的な立場から支援するもの

## 活動実績

これまでの主な取組は以下のとおりです。

### 活動実績（組織設立準備段階）

実施時期	取組名等	取組内容
2014年1月～9月	事業者ヒアリング	エリアマネジメント団体への参画が想定される事業者に対してヒアリングを実施。（21企業・団体、延べ33回）
2014年10月～2015年3月	地区別エリアマネジメント準備会議	エリアマネジメント組織設立の趣旨に賛同を得た企業・団体の参加により、他都市の事例研究や将来的な組織形態について検討。（地区別：計6回）
2014年11月以降、定期的 に開催	エリアマネジメントに関する勉強会	事業者による主体的なエリアマネジメント活動への機運を醸成するため、他都市においてエリアマネジメント活動に携わった経験のある講師等による勉強会を開催。以降、定期的に開催（2014年：2回、2016年：1回）
2015年9月以降、定期的 に開催	広島駅周辺おもてなし一斉清掃	広島駅南口周辺やマツダスタジアム周辺などの清掃活動を事業者の参加により実施。以降、定期的に実施。（2015年：1回、2016年：2回、2017年：2回）
2015年9月～2016年2月	広島駅周辺の新たなまちを考えるワークショップ	エリマネ団体に参加予定の事業者同士が話し合う土壌づくりとまちの将来イメージや取組アイデアの共有化を目的に開催。（28企業・団体の延べ122名参加、全4回）
2016年4月～2018年3月	広島駅周辺地区エリアマネジメント合同準備会議	本格的なエリアマネジメント活動を実施する任意組織としての設立に向け、エリマネ組織の活動プランや組織体制等を検討。（2016年：7回、2017年：7回）
2018年5月	全国エリマネシンポジウム in Hiroshima 2018	全国エリアマネシンポジウムの広島大会（参加者約600名）の実行委員会に参画し、協議会設立等のPRを実施。

活動実績（組織設立後）

実施時期	取組名等	取組内容
2018年5月	広島駅周辺地区まちづくり協議会設立	広島駅周辺の企業・団体等を中心に設立。以降、定期的に会議を開催。（総会：1回、役員会：1回、運営部会：9回、事業部会：9回）
2018年7月～ （以降定期的に実施）	広島駅周辺おもてなし一斉清掃	広島駅南口周辺やマツダスタジアム周辺などの清掃活動を事業者の参加により継続的に実施。（2018年：計5回うち2回中止）
2018年9月	協議会ロゴマーク作成	協議会のエリマネ活動のブランド化を図るため、ロゴマークを作成。（作成協力：安田女子大学造形デザイン学科）
2018年11月	協議会ホームページ、フェイスブック開設	協議会のエリマネ活動のPRやまちの情報発信を行うためのホームページ、フェイスブックを開設。（随時更新）
2018年11月	先進地視察（福岡市）	「博多まちづくり推進協議会」、「We Love天神協議会」の2団体を視察し、取り組み事例や活動の課題・解決策等をヒアリング。（会員10名参加）
2018年11月～2019年1月	広島駅南口地下広場イルミネーション（ドリミゲート～星に願いを～）	ひろしまドリミネーション2018の広島駅周辺サテライト会場のひとつとして、南口地下広場のイルミネーションを実施。エキキタまちづくり会議、JRが実施するイルミネーションと共通のテーマ（「星に願いを」）を設定し、広島駅全体の一体感をPR。
2019年2月～ （以降、定期的に実施）	「ひろしま駅エリアつうしん」への協力	平成31年2月創刊の地域情報誌「ひろしま駅エリアつうしん」を通じ、地区内でのイベント等の情報発信を実施。（月2回発行）
2019年3月	広島駅周辺地区防災マップ（案）の作成	広島駅周辺の案内マップをベースに、帰宅困難者滞在施設やAED設置個所等の防災情報を掲載したマップ（案）を作成。（各関係先と調整し、2019年度以降に公表予定）
2019年3月	まちづくりビジョン作成	協議会としての活動の方向性や地区の将来像・目標を示すまちづくりビジョンを作成。

## 財務状況

### 2018年度収支（前年度収支）

収入の部				(円)
科目	予算額	決算額	摘要	
事業協賛金	750,000	150,000	マップ作成協賛金	
	700,000	700,000	イルミネーション協賛金	
運営協力金	1,000,000	1,000,000	会員からの任意協力金	
負担金	400,000	0	清掃・イベント等で使用するビブスの共同購入費	
	2,500,000	1,850,000	広島市負担金	
補助金	250,000	0	経済産業省IT導入支援補助金（ホームページ制作）	
その他の収入	0	7	預金利息	
収入合計	5,600,000	3,700,007		
支出の部				
区分	科目	予算額	決算額	摘要
事務局運営費	事務費	170,000	101,555	資料印刷費、通信費等
	会議費	10,000	26,597	会場費、会議用飲料等
広報活動費	委託料	620,000	537,350	ホームページ作成等
交流活動費	開催費	285,000	170,145	先進地視察、勉強会
	負担金	55,000	55,000	全国エリマネ関係負担金等
個別活動費	事業費	1,000,000	1,000,000	まちづくりプラン素案等作成費
		1,800,000	300,000	案内マップ等作成費
		1,180,000	1,410,000	イルミネーションの企画・実施に係る費用
		300,000	99,360	清掃・イベント等で使用するビブスの制作費
支出合計		5,600,000	3,700,007	

# 4. エリアマネジメントの取組内容

2019年度の主な取組内容は以下のとおりです。

2019年度取組内容			「にぎわいづくり」に関する活動													「環境維持」に関する活動													「情報発信」に関する活動												
区分	取組名	取組概要	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考																										
おもてなし	案内機能の強化	案内所スタッフ等の意見交換会や既存の取組の支援を実施	課題・取組内容の検討				意見交換会				既存取組の支援																														
	地下広場の環境づくり	イベント広場等を活用した居心地のよい環境づくり等を実施	まち歩き				課題、取組内容等の検討																																		
事業部会	にぎわい	広島駅周辺イルミネーション	検討・他団体調整							イルミネーション実施																															
	にぎわい	地下広場等を活用したにぎわいイベント	川の駅活用意見交換				川の駅活用・イベントの検討					川の駅イベント実施																													
	スポーツと健康	スポーツに関連するイベントや仕掛けづくり	ドラゴンフライズ応援イベント				スポーツ健康イベント				カーブコラボイベント企画																														
安全・安心	おもてなし・斉清掃	広島駅南口周辺やマツダスタジアム周辺の清掃活動を実施	●																																						
	防災に関する取組	防災マップの充実や勉強会、帰宅困難者対策訓練等を実施	大州雨水貯留池見学会		講演会		危機管理室との意見交換			対応訓練		防災施設見学		帰宅困難者対策(案)作成																											
運営部会	エリアマネジメント広告事業	南口東西地下道等への広告掲出によりエリマネ活動の財源を確保	協議・検討				広告事業実施				検証等					支援を求める事業																									
	広報活動	ホームページ、フェイスブックによる情報発信を実施	随時更新																																						
	勉強会・先進地視察	取組の参考とするため、勉強会や先進地視察を実施	勉強会(他団体)				勉強会(他団体)				先進地視察																														
	会員間の交流促進	会員同士の交流会や施設見学会などのイベントを実施	交流会施設見学		施設見学				交流会		施設見学		施設見学																												

※詳細スケジュール等については、変更となる場合があります。



## 5. エリアマネジメントの収支計画

2019年度の収支計画は以下のとおりです。公共施設等の使用等に係る制限等の緩和による広告事業収入を見込んでおり、将来的にはこうした事業収入の増加を図り、組織としての自立を目指します。

### 2019年度収支（当年度収支計画）

収入の部			(円)
科目	予算額	摘要	
事業協賛金	800,000	イルミネーション協賛金等	
運営協力金	1,200,000	会員からの任意協力金	
その他の収入	2,400,000	広告料収入	
負担金	2,500,000	広島市負担金	
収入合計	6,900,000		
支出の部			
区分	科目	予算額	摘要
事務局運営費	事務費	50,000	資料印刷費、通信費等
	会議費	100,000	会場費、会議用飲料等
広報活動費	委託料	100,000	ホームページ更新等
交流活動費	開催費	320,000	先進地視察、勉強会
	負担金	30,000	全国エリマネ年会費
個別活動費	事業費	200,000	「おもてなしのまち」に関する事業
		1,500,000	「にぎわいのあるまち」に関する事業
		200,000	「スポーツと健康のまち」に関する事業
		500,000	「安全・安心なまち」に関する事業
	広告事業経費	3,700,000	委託料、フレーム設置費用、占用料等
予備費		200,000	
支出合計		6,900,000	

※広告料収入については、エリアマネジメント広告事業の社会実験期間（3か月分）の収入を見込んでいる。

## 6. エリアマネジメントの推進において必要と考える公共施設等の使用等に係る制限等の緩和

### 広島市に求める支援事項

- 広島駅南口東西地下道のエリアマネジメント広告事業における「地域における公共的な取組みに要する費用への充当を目的とする広告物の道路占用の取扱いについて（平成20年3月25日付け国道利第22号）」に基づく「広島市道路占用規則」及び「公共地下歩道における広告物の占用許可基準」の運用

### 具体的な支援内容

規則等	現行基準	希望支援内容
道路占用規則	広告物のための占用は公益上必要があると認められる場合に限り、許可する。	広島駅周辺地区まちづくり協議会が行うエリアマネジメント活動費に充当することを目的とする広告物を「公益上必要があると認められる場合」に該当すると扱い、許可すること。
公共地下歩道における広告物の占用許可基準	公共地下歩道における広告物等の道路占用は公益上又は商慣習上やむを得ないと認められる場合に限り許可する。	広島駅周辺地区まちづくり協議会が行うエリアマネジメント活動費に充当することを目的とする広告物を「公益上やむを得ないと認められる場合」に該当すると扱い、許可すること。

## 支援により得られる効果

### ■ 遊休スペース等の活用によるまちの景観向上やにぎわい創出等への寄与

現在、無機質で暗いイメージで有効に活用されていない広島駅南口東西地下道等の壁面等を広告スペース等として活用し、協議会による自主審査により良質でにぎわいの創出につながるような広告物を掲出することで、広島駅南口東西地下道等の景観の向上やにぎわいの創出に寄与するものと考えています。

また、広島駅南口東西地下道と広島駅南口地下広場の施設管理者（指定管理者）である広島駅南口開発(株)が構成員であり、同施設の総合的な活用や維持管理についても、広島駅まち協議会と連携して行うことが可能となります。

さらに、路面電車の広島駅前大橋線の整備に伴い、広島駅南口周辺の主要動線が地下2階レベルから地上2階レベルへと移ることが予想され、今後、広島市が広島駅南口地下広場等のあり方や機能の再整備を検討していくうえで、本事業の検証結果が、そのための検討材料のひとつとして活用できます。

### ■ エリアマネジメント活動の安定的な財源の確保

エリアマネジメント活動には活動資金の確保が重要です。現在、「広島駅周辺地区まちづくり協議会」の活動費は参加会員からの協力金と事業への協賛金、広島市から負担金（上限：事業費の1/2）で賄っていますが、協力金と協賛金は会員から任意で徴収しており、経済情勢等により影響を受ける可能性があり、また広島市からの負担金は3年間（平成30年度～令和2年度）の限定的なものであることから、早期に安定的な自主財源を確保する方策を検討する必要があります。

このため、広島駅南口東西地下道等を活用した広告事業により自主財源を確保することで、エリアマネジメント活動の継続的な実施が可能となり、地域課題の解決や地域価値の向上につながるのと同時に、組織としての自立が図られると考えています。また、将来的には広島駅南口地下広場内においても、広告事業の展開を検討しており、更なる公共施設の総合的な活用を検討し、より安定的な財源確保を行うことが可能となります。

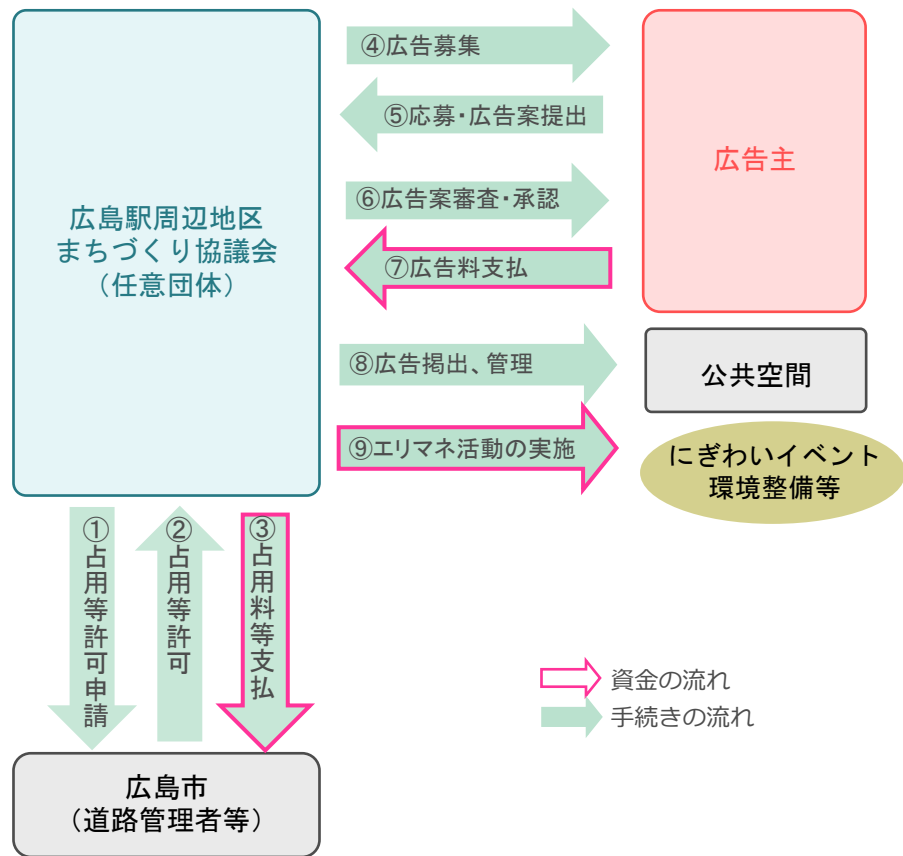
## 遵守事項

次の事項を遵守し、広告事業を実施します。

- 広告事業により得られた収益は、すべて広島駅まち協議会が行うエリアマネジメント活動に充てることとし、民間事業者の利益にはしません。
- 掲出する広告物が、公共空間にふさわしく、都市景観との調和のとれたものとなるように、協議会による審査会を設置し、内容やデザインについて自主審査を行います。
- 施設管理者等と十分調整し、広告物の設置等の作業においては、通行の妨げとならないようにするなど安全面に十分配慮するとともに、掲出期間中の適切な維持・管理に努めます。
- 道路管理者等と十分協議し、本事業の本格的な実施においては、社会実験の検証等必要な手続きを経て行います。
- その他、関連する広島市の所管課と協議を行い、届出等の必要な手続きを行うとともに、指示、指導に従います。

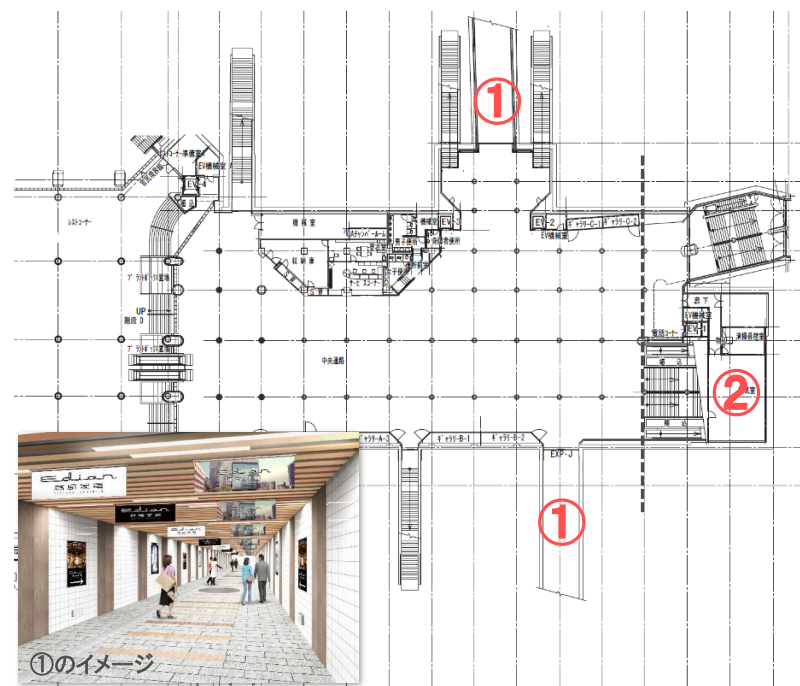
# エリアマネジメント広告事業の概要

## 事業スキーム



- 広島駅まち協議会が広島市に対して道路占用等を申請。
- 占用等の許可を受けたスペースを広告枠として広告主に貸し出す。
- 得られた収益を財源にエリマネ活動を実施

## 事業概要



場所	概要	規制緩和	規制緩和の内容
①東西地下道	壁面にポスター広告を掲出 (B1サイズ、10か所)	必要	道路占用許可基準の緩和
②中央出口階段等	壁面にポスター広告を掲出 (B1サイズ、10か所)	不要	(現行の基準内で実施)

※規制緩和による広告の設置については、その具体的な設置方法も含め、制度担当課及び許可等担当課（道路管理課、広島駅周辺地区整備担当、南区維持管理課、広島駅南口開発(施設管理者)及び広島南警察署）に事前相談し、支障がない旨を了済済。